

## 新型コロナウイルスへの低濃度オゾン発生装置 Airness II (エアネス II) の効果について

当庵では、「ウイルス除去・除菌・消臭」を可能にする、低濃度オゾン発生装置 Airness II (エアネス II : シップヘルスケアホールディングス製) を設置しています。

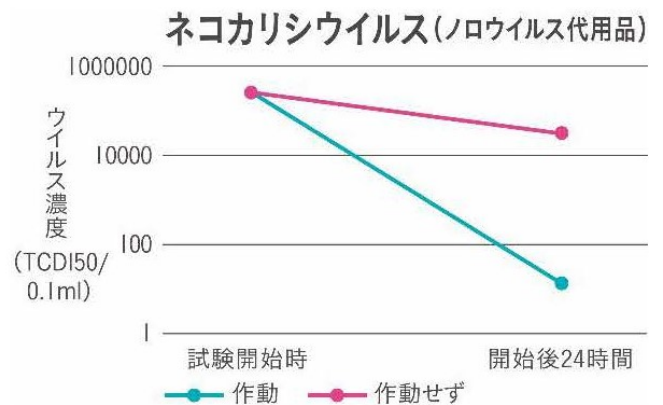
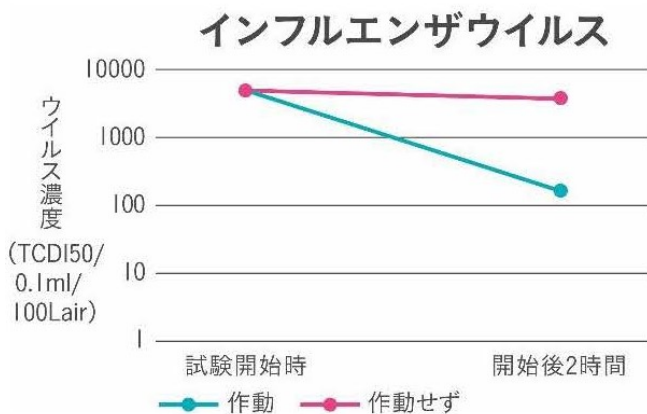
現時点では、エアネス II に関して新型コロナウイルスに対する効果は立証されていませんが、オゾンが、新型コロナウイルスの不活化にも効果があると、次々と大学・専門機関の研究結果が発表され、急速にオゾン発生器の需要が拡大しています。



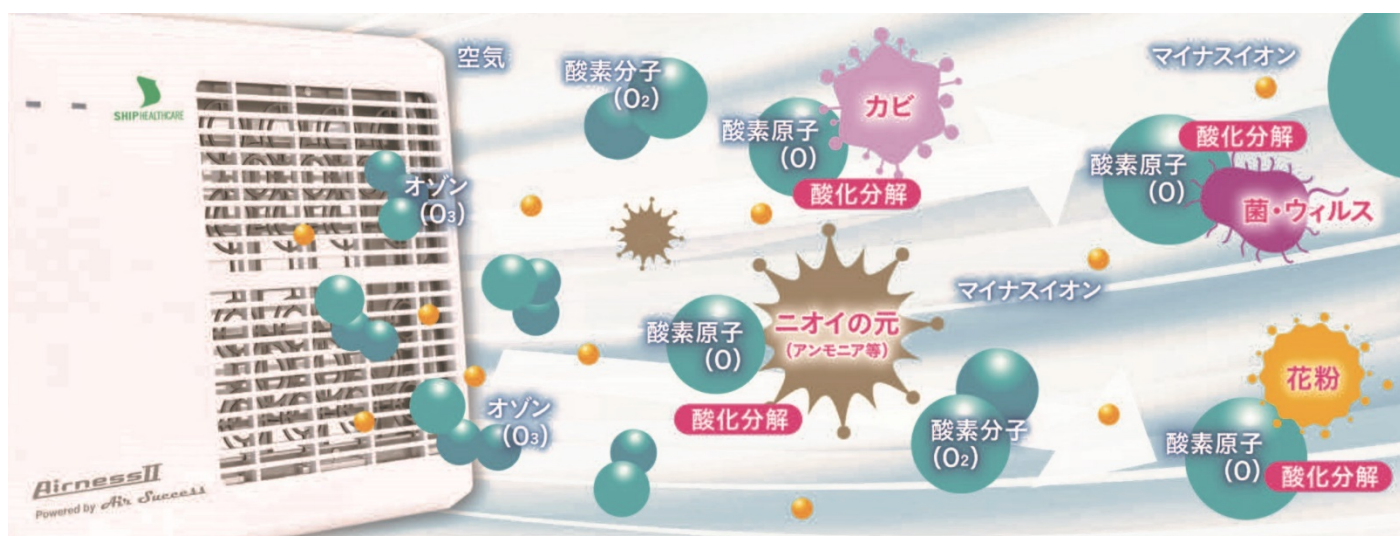
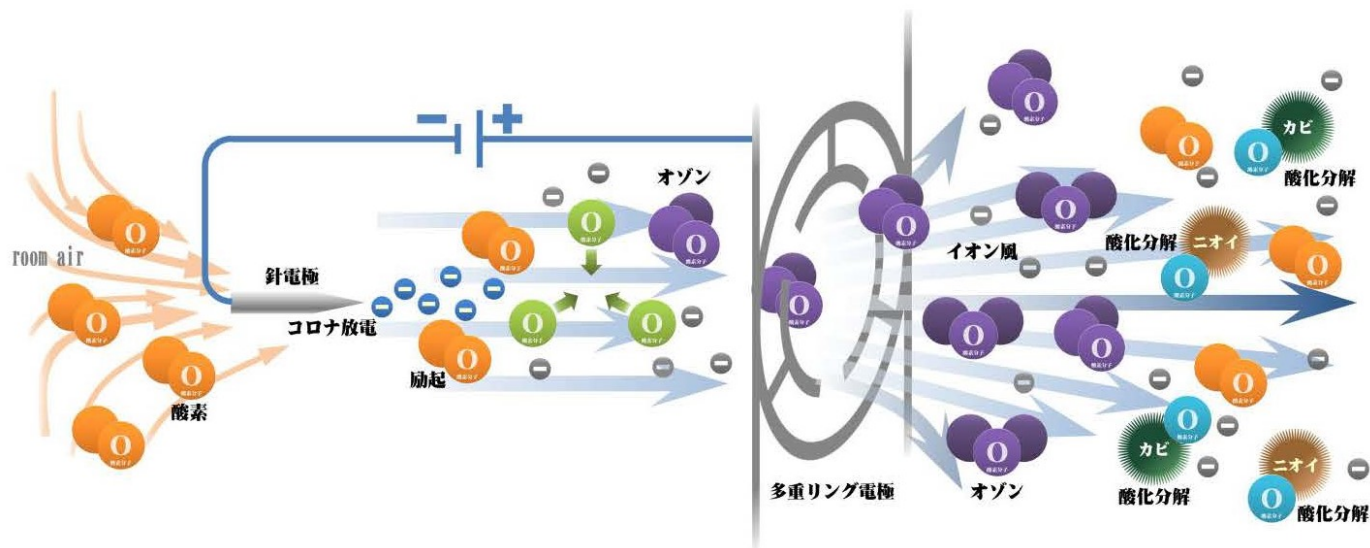
ウイルスは核酸(DNA やRNA)とこれを包む外殻タンパク質から構成されています。オゾンによるウイルスの不活化は、このタンパク質がオゾンによって分解されることにより起こるとされています。エアネス II は、第三者機関での試験により、ウイルス除去効果を確認しています。

### ■ エアネス II 実証試験結果

● 1m<sup>3</sup> 密閉空間でのウイルス不活化試験結果 試験機関：株式会社食環境衛生研究所



エアネス II は、特許技術「多重リング式コロナ放電」を搭載し、空気中の酸素(O<sub>2</sub>)や水蒸気(H<sub>2</sub>O)などから「低濃度拡散オゾン」(O<sub>3</sub>)とマイナスイオン気流を発生させ、その気流に乗せてオゾンを広散させます。オゾンは、反応性に富む酸素同素体で、その強い酸化力により有機物を分解することから、消臭や除菌に用いられてきましたが、この度オゾンが、新型コロナウイルスの不活化にも効果があると、次々と大学・専門機関の研究結果が発表されました。



エアネス II から発生するオゾンを活用し、空間の除菌やウイルスの除去で、空気環境の最適化を実現して参ります。

